

統合型リゾート

那覇市立安岡中学校三年 黄 東森

私は、沖縄の観光を発展させるには、「統合型リゾート」が必要だと思います。

「統合型リゾート」とはなんなのか、これを疑問に思う人はたくさんいるかもしれません。「統合型リゾート」とは、全ての年齢層が楽しめる一つの地域のことです。具体的には、子どもならテーマパークや動物園、大人ならショッピングや観光など、これらの場所をそろっているところです。

なぜ、「統合型リゾート」が必要なのか、私は二つの理由を考えました。一つ目は、県民生活まで影響しにくいからです。平成28年度は約850万人の観光客が沖縄を訪れていますが、そのうちの約200万人は外国人観光客です。15年後、外国人観光客だけで700万人が訪れると予測されます。そのとき、瞬時に言葉を翻訳できる機器が普及すると考えられるため、観光客と県民の間では言葉という「壁」がなくなるでしょう。ところが、困ることは意外なところにあります。言葉という「壁」がなくなるため、ツアーの大型バスで移動する必要はなくなり、好きな時間にその場所に行くことができる自動車が増え移動手段になります。自動車は大型バスよりも乗る人数が少ないため、街中で走る車はとも増えることになります。観光客の数も、この時代になると増えるため、沖縄の道路は毎日渋滞になる可能性が高くなります。だからこそ、「統合型リゾート」が必要です、観光客を一つの地域に集めれば、道路拡張は主要道路ぐらいですませることができ、観光客増加や移動手段の変化による問題が解消されることでしょう。

二つ目に、「統合型リゾート」をつくると、トラブルを回避することができます。外国人と日本人には文化の差があり、日本では当たり前でも外国では不思議、これの逆パターンもあります。那覇の街中で、例えば文化の違いによるトラブルが起きたとします。状況によっては他人を巻き込むおそれがあるでしょう。こういうときは警察に通報してもすぐには駆けつけることができません。巻き込まれたのが県民ならば、外国人観光客に対するイメージが落ち、制限などをしようとする声が出てきたら観光業界にとって損失は大きいといえるでしょう。このようなトラブルの影響を小さくするため、「統合型リゾート」のような一つの地域に集めた方が良く私は考えます。

以上二つの理由により、私は沖縄の観光を発展させるには、「統合型リゾート」が必要だと思います。

「統合型リゾート」の実現には、四つのことが求められていると私は考えています。

一つ目は、土地の確保です。土地がなければ何もできません。宿泊施設にも土地はないといけません。民泊を利用することもできますが、数字上や法律上、複雑であるため、実現は難しいです。沖縄のまとまった土地といえば、北部、南部、普天間周辺と嘉手納周辺の四つほどしかありません。北部では固有種が生息する森林があるため、難しいでしょう。南部は農家の畑が広がるため、風景を壊してまで造る必要はありません。普天間周辺は大きさとし

て少し足りないのと、住宅地に囲まれているため、困難でしょう。嘉手納周辺は基地があるため、土地は平坦に整備されていて、面積は東京品川区と匹敵するほど広いです。東京品川区は36万人の都民がすんでいる、同じぐらいの面積なら36万人の宿泊施設は少なくとも作れるでしょう。しかも嘉手納周辺にはビーチがあります。もしこの嘉手納周辺の土地を使用することができたなら、沖縄の観光はますます発展することになるでしょう。

二つ目は、「都市計画」です。「統合型リゾート」はいったんはじまると、簡単にとめることはできません。例えば、観光客は予想以上に増えたため、道路を拡張してもう一回造り直すなどの事態が発生しないように、道路をはじめ、全ての施設が拡張できるように計画して造らなければいけません。

三つ目に、環境保全です。現在もそうですが、観光客増加によるゴミ問題、海水温上昇や赤土流出によるサンゴの白化現象など、どんな問題にしる、解決には莫大な費用がかかります。観光客や未来の人々のため、この費用は決して無駄ではないでしょう。もしかすると、地球全体の環境意識を高めることができるかもしれない。ゴミ問題なら町中にゴミ箱を設置、サンゴ白化は色々な手段を通して皆に伝えていく必要があります。

四つ目は、「バランス」です。例えば嘉手納周辺の基地は「統合型リゾート」に整備され、全ての年齢層が楽しむことができる施設がたくさんできるとします。色々なことが限られた地域でできるようになると、観光客は他の観光施設に行かなくなると大変なことになります。そのため、「統合型リゾート」の施設はあくまで宿泊中心、もしくは「統合型リゾート」での買い物は免税ではなく減税などの「バランス」がとれ、大変なことにならないように周辺のことを考慮していかないとはいけません。

「統合型リゾート」の最大の課題点は費用です。仮に嘉手納周辺の基地を整備することができたとしても、大がかりな工事になり、建設だけでも十兆円前後の維持・管理費がかかることでしょう。それはあまりにも高い金額です。この点を解決すれば問題はなくなると思います。

以上が私の「統合型リゾート」の提案です。沖縄の観光の発展や参考になれば、大変嬉しいです。